

特定非営利活動法人イマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20 Tel 0547-34-3370 Fax 0547-34-3371



イマジン通信

Vol.62



春を感じて

理事長 澤島直通

日に日に暖かくなり、自然と上着を着なくても外出できる時間が増えています。同時に目のかゆみとクシャミが出るようになり、春が来ていることを実感します（笑）

皆様のご理解とご協力のお陰で平成25年度を無事に送ることが出来ました。本当にありがとうございます。

この時期になると、学齢期の方は進学や卒業と言う節目を迎え進路の会議や移行支援の会議が多くあります。成人の方は通所施設を変えられる方や就労移行や自立訓練などの期限付きの支援を受けていた方が新しい通所先を探し始め、またまた会議が行われます。国の定めた『計画相談』を平成26年度中に全てのサービス利用者を実施しなくてはならない市町、相談支援事業所はしきりと会議を行っています。

イマジンはサービス提供の事業所として多くの会議に参加しています。ヘルパー、ショートステイ、GHCH、生活介護、放課後等児童デイ、実施する事業の分だけ利用者の為に『必要な支援』『必要な理由』を話してきます。会議に出席するのは本人ばかりではなく、「お母さん」が多く、時には一番頑張っているお母さんに厳しいことを言わなくてはならない場面も多々あります。

『支援は本人の為にある』ということをおぼろげに忘れてしまっている・後回しにしてしまっている会議が少なくありません。制度で利用できる範囲でしか考えない行政の方、サービスの切り売りをプランにする相談支援員、本人は…と言いながら事情や状況を説明するしかないご家族・障害者の施策は支援費から10年以上が経ち、サービスも増えただけ何も変わっていない目の前の光景。

本人の理解や方向性を共有できないまま行われる会議は辛い。座っていて苦しくなります。相談やサービスに従事する人が増えた分だけ本人への支援や理解が薄まっているように感じます。「みんないるから大丈夫」「こんなにたくさんの人が関わっているから心配しないで」という魔法の言葉は本人に届いているのか？そして会議の最後に出る「後の部分はなんとかして」という誰に向けられているか分からない言葉。「何とかならないのかなあ」というつぶやき・

相談支援は本人の代弁者となって実態を支援に繋げるために本人やご家族からたくさんのお話を聞かせていただけるはず。人には言えない話も聞ける・いや、聞かせていただける関係を築くことが最優先、最重要です。聞いてしまった以上、どうにかせねば！と動き出すはず。障害当事者に春は近づいているのかなあ？彼らは春を感じているのかなあ？と思う今日この頃です。

そんなある日、20代の自閉症の男性と出会いました。「話をしたい」という依頼に「どんな子だろう♪」と悪い虫が騒ぎ出し、いそいそと出かけていきました。緊張した面持ちで少しくつむぎ加減にしている彼とご両親にイマジンの事業の説明をさせてもらいました。何か気になることがあると横に座っているお母さんに向かって質問と確認。こちらの言葉かけには「ハイ」という素直な返事のみ。説明も終わり、ご両親の質問に答えていると「体が痛い」という訴えをお母さんにしてきます。「どこが痛いの？なに？」と聞き返すお母さんに「何でも無い」とうつむいたまま首を振っている彼。お母さんが聞き返しても「何でも無い」という返事のみ。「なに？もう…」というお母さんの言葉をさえぎって、「いいですよ。ずっと座っていたから疲れたね」と彼に言葉をかけました。話し始めて40分近く経っていました。すると彼は初めて背筋を伸ばして顔を上げ“ニッコリ♪”笑ってくれたのです。

それから別れる最後まで、説明のために持って行った事業所の写真入りの地図と作業風景等の写真をジィ〜と見つめながらしっかりと座り、ニコニコしていました。そして「いつから？」と笑顔で聞いてきます。私は「見てみよう。」と彼を誘います。「いつまで行く？」と再び質問。お母さんが「まだ分からないでしょ」と答えるのをさえぎって、「A君が来たいなら、ずっと来ていいよ」と答えると、今までの何倍もの笑顔で“ニッコリ♪”と笑顔で答えてくれます。

彼は、自閉症です。想像力が弱いという特徴があります。障害による困難さは治らない。でも、写真を見て映像を自分のものにし、地図から位置を自分のものにし、『行ってみたい』という気持ちが出る。そして、自分なりの言葉で表現し伝えようとする力がある。彼は、この瞬間に『分かってもらえた』という気持ちが満たされる体験をしたんだと思う。それが、あの笑顔なんだと。彼は、これからたくさんのお話を体験すればいい。それは、人との関わりの中にあるし、人無しでは実現できないことだと思います。

帰り際、お母さんの口から「こんなに笑っているの見たことが無い♪」と笑顔で言っていただき、それを見守るお父さんの顔も朗らかになり、「ああ、この親子に今、春が来たなあ」と素直に感じながら3人の背中を見送りました。

こういう瞬間に寄り添いながら、気持ちを共有できるのがイマジンの支援なんだと感じた時、自分の気持ちにも暖かな春の日差しが差したように明るくなり、「春が来るなあ」と感じる日でした。



つつい雨やどりの生活 ②⑥

日中の日差しが暖くなり、春の訪れを感じるようになりました。寒い冬を抜け、緑が芽吹き始める季節が待ち遠しい今日この頃ですが、つつい雨やどりは、新しい季節に敏感に反応している入居者さんたちで賑やかな毎日です。変化が苦手な自閉症の方にとって、旅立ちと出発の季節である『春』は、とても大きな変わり目です。特に学校を卒業して間もない入居者さんたちは、何がある訳ではありませんが、ソワソワと浮き足立ち、イライラと気持ちが揺れ、落ち着かない様子が日々見られます。世話人たちは、本人たちの様子に合わせた生活を考えながら、揺れる思いに付き添い、日々支援させていただいています。

今回は、GHCH運営に関係する様々な制度についてのお話です。GHCHは、障害者総合支援法に基づき、所属する都道府県から認可を受けて実施する事ができます。（制度改正により、平成26年度からグループホームに一括化されます。詳しい制度改正のお話は、また次回に…。）主に、人員体制や入居者の内訳、支援の内容や建物の設備などが決められており、実施をする1ヶ月前までに申請手続きを行う必要があります。

また、5年毎に更新の手続きが必要になります。『障害福祉サービス』として事業を行うには必ず認可を受けなければならず、認可を受けたからこそ、国や県、市町から給付費（報酬）をいただくことができます。

認可を受ければ事業の実施はできるのですが、実は他の制度や法律なども関係してきます。最も有名なのが「消防法」です。近年に起きた高齢者のグループホーム火災や、個人病院での火災などから、消防法も見直しがされ始め、避難誘導灯や自動火災報知設備、規模に応じてスプリンクラーなどの設置も義務付けられるようになりました。また、「建築基準法」も関係してきます。建物は用途が決められています。用途が変わると「住宅」から「寄宿舎」等の用途への変更が発生し、場合によっては構造を変更しなくてはならなくなります。非常用照明や排煙設備の設置、廊下や階段の幅員、内装の材料等、細かく基準が定められてきます。

これらのことは、新築で実施する場合は設計の段階で『建築確認』を行うため、遵守されているか必ず確認が入ります。しかし、アパートや借家、中古物件等で実施する場合は、それらの基準が全てクリアできている物件を探さなければいけません。もしくは、工事をして基準に合った建物にする必要が出てきます。ただでさえ大変な物件探しですが、これらの基準が更に大きな壁となります。立地、交通の便、面積、築年数、建物の構造、間取り、家賃などに加え、場合によって消防設備を設置しても良いか？建物の用途を変更できるか？など、大家さんの協力も得なければならないのです。これらの大きな壁に、何度と無くぶつかり、断念してきました。

利用者・職員などの条件がすべて揃っても、場所がなければ事業をスタートする事はできません。どの条件も、必要だからこそ制度化されているものです。そして、大きな火災や死亡事故等を受け、年々厳しくなってきました。安全を確かなものにする事がGHCH事業の実施を厳しくしている一因にもなっています。「地域で暮らす」を目指してきたイマジンにとって、葛藤の日々です。と言っても、最善の策を考え、行動するしかないっ！！との事で、これからも前を向いて進んで行きたいと思っています。なかなか皆様の声にお答えできず心苦しく思う毎日ですが、これからもご理解とご協力をお願い致します。（担当 二宮）



今月の世話人のつぶやき（いよいよ雨やどり）

少しずつ暖くなり、外出するのが楽しくなる季節になりました。

私が世話人として働き始めて一年が経ちました。入居者さんの生活も日中活動先が変わった方もいて、普段と変わらない日常を送っているようで実は一年前の生活と大きく変化しているなぁと実感します。

今年に入り、人間ドックを初めて受診したり、節目検診を受けたりした入居者さんが何人かいます。それぞれに「今の身体がどうなのか？」という疑問があり受診をしました。1人の入居者さんは胃に問題が見つかりました。『病気を治す為』とは言っても、昨日まで我慢しなくて良かった食事やおやつ等をその日を境に『我慢しなくてはならない』という現実を受け止めることはとても難しいことだと思います。

世話人としてできることは限られています。病気を治すのはお医者さんでも世話人でもなく本人です。完治するまでに我慢しないといけないこと、つらいことがたくさんあると思います。本人がつらい時、『本人の心の支えになれるような関係をそれぞれの世話人が築いて来れたか？』を問いかけている時かもしれません。

身体に不調が起こると当たり前前の暮らしを当たり前前に続けられることがとても幸せなことだと実感します。入居者全員が、これから歳を重ねる中で幸せに生活する為には健康でいられることが何よりも大切なことだと思います。「今、病気ではないから・・・」とその時だけ良ければいいのではなく、1年後、5年後、10年後のことを考えながら、これからも当たり前前の生活を当たり前前にできるよう、今を大切に暮らしていけるといいなと思います。（担当 稲葉）



ヘルパーのよろこび

ちらほらと黄色やピンクなどの春らしい花を目にすることが多くなり、お散歩がとても気持ちいいです。単純な私は、晴れ渡る青空とぽかぽか陽気で1日ウキウキ元気に過ごせます♪

1月頃から、とっても柔らかな印象を受ける女性のご利用者さんへの身体介護の支援に入らせてもらえることとなりました。その方は、ご本人の力では体を動かすことが難しいため、1日に数回訪問させていただき、毎日支援をさせていただいています。支援中はもちろん、支援後に車椅子へ座って過ごす生活の為、お身体へかかる負担を最小限にする為、細心の注意と配慮が必要とされます。そして、女性ならではのきめ細やかな支援内容。張り切って先輩ヘルパーに着いていった私ですが、細やかとはかけ離れた私・・・、この支援をこなせるのか、どっぷり首まで不安に浸かりきって初日を終えました。その日から、先輩ヘルパーに同行してもらい見守られながら支援をさせていただく日々が始まりましたが、なかなかイメージと流れ・体の動きが結びつかず、四苦八苦。自分の不甲斐なさが情けなくて・・・申し訳なくて・・・、何度も何度も負けそうになりながらの2ヶ月間を過ごしました。

そして、そんな私でも、笑って気長に成長を待ってくださったご本人をはじめ、忙しいなか支援に同行してくれた先輩ヘルパー、ヘルパー調整に奔走してくれた予定の担当者など、たくさんの方のおかげで無事に自分ひとりで支援に入らせていただける日を迎えることができました。本当に本当に嬉しくて、思い悩んだ日々が嘘のよう。今では、少しずつお話をさせていただく余裕もできて、「次のサーカスと一緒にいこうね」って言うだけでいいです。

私なりに頑張っただけでも少しずつ身についた丁寧な支援が、『他の利用者さんの支援にも活かしている』ということに気づける瞬間、うまくいく場面を感じれるようになってきました。これからも安心して心地よく支援を受けていただけるように、悩みながら支援に入った初心と、介助させていただくご本人の身体から伝わってきた不安と緊張を忘れずに日々向上したいと思います。これからも頑張ります！！

早く木下大サーカス来ないかなあ・・・。（担当 増田）



今月の世話人のつばやき（そろそろ雨やどり）

きびしい寒さも少しずつ和らいできました。入居者の皆さんも「今日は暖かかったね」と言いながら、季節の移り変わりを感じながら過ごすこの頃です。「そろそろ春ものの服を出そうか・・・」と入居者さんと世話人が話し始めています。


入居者の皆さんは、自分で洗濯、掃除、通所の支度などを行っています。天気や気温、活動の場面をイメージしながら準備をするのに少し悩むこともありますが、上着や帽子を手にとって「明日、どれにする？」なんて世話人と笑顔で話をしながら翌日の支度をする姿が見られます。就寝前には布団やパジャマなどの寝具も調節しながら、自分の部屋や衣類を整えています。毎日の生活の中で様々な場面や変化を思い浮かべながら、世話人も入居者さんと一緒に過ごし、支援をさせていただいています。

健康の維持と増進のために食事を気を付けたり、毎日の生活に運動を取り入れている入居者さんもあります。「もう少し食べたいな～」「〇〇食べたいな～」なんてこともありますが、そこは世話人も一緒に笑顔でがんばりましょう。「今日、歩くのは・・・」そんな時は「行っておいで！」とあたたかく励まして送り出すこともあります。

うれしいこと、楽しいこと、つらいこと、悲しいこと、毎日いろいろあるけど、そろそろ雨やどりのみんなと新しい季節の中を一緒に歩いていきたいです。（担当 岡本）



新しい仲間の紹介

 <p>◆ 上田歌菜恵 事務及びヘルパー</p>	 <p>◆ 岩崎聖子 事務</p>	 <p>◆ 藤井亜希子 つつい雨やどり世話人 事務</p>
 <p>◆ 杉山文子 いよいよ雨やどり世話人 ヘルパー</p>	 <p>◆ 中村紀之 風のこえ支援スタッフ</p>	 <p>◆ 汐田美恵子 いよいよ雨やどり世話人</p>
 <p>◆ 若杉幸治 風のこえ支援スタッフ つつい雨やどり世話人</p>	 <p>◆ 住田倫子 そろそろ雨やどり世話人</p>	 <p>◆ 泉地ゆかり 風のこえ支援スタッフ ヘルパー</p>



平成26年度 正会員の募集をしています！

日ごろからイマジンの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。NPO法人にとって正会員は必要不可欠な存在です。本当にありがとうございます。

平成26年度の正会員の募集をしています。年会費の受付は常時行なっています。新規の会員も継続の会員も大歓迎です。年会費はイマジンまでお持ちになっても、下記口座まで振り込まれても結構です。また、イマジンのサービスを利用されている方は引き落としも可能ですのでお申し付けください。イマジンの活動に引き続きご協力・ご支援をお願い致します。

☆上城 伸栄 ☆佐藤 博 ☆澤島 直通 ☆鈴木 純江 ☆野崎 博

【年会費】正会員 5,000円 ・賛助会員(個人) 1,000円 ・賛助会員(団体) 20,000円

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771

特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通



◆◆ 平成26年度イマジン総会のお知らせ ◆◆

平成26年度イマジン総会を下記の日時に開催します。平成25年度の報告、26年度の計画を始めとして、2部での企画も、障害者の地域生活を考える時間にしたいと企画中です。もちろん、総会ならではの皆さんとお話しする時間も持ちたいと思います。

ご多用のこととは存じますが、ご都合をつけてご出席の程、よろしくお願い致します。

また、イマジンの活動に関心のある方が近隣にいらっしゃいましたら、お声かけの上、お気軽にご出席ください。重ねてお願い致します。

日 時 平成26年 5月17日(土) 開場 午後5時30分 開演 午後6時00分
場 所 島田市総合スポーツセンターローズアリーナ 多目的室
内 容 平成25年度 事業・会計報告
平成26年度 活動計画・活動予算
役員改選

◎ 場所の分からない方、地図を用意しています。お気軽にお申し付けください。

◎ 当日は別室を用意しておりますので、お気軽にお子様をお連れ下さい。その際には、お手数ですが連絡をお願い致します。

◆◆ ご寄付のご協力をお願いします。 ◆◆

イマジンでは、障害を持つ方も、そのご家族も、この地域に安心して暮らしていくために地域生活を支援していきます。障害福祉サービス全ての事業の拡充と継続をしていくため、強い法人づくりを行っています。安定したサービスの提供、ケアホーム事業を始めとする全ての事業に建設費用や運営費用が多く必要となります。是非、イマジンの活動趣旨にご理解を頂き、皆様のご寄付のご協力をお願いします。

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771
特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通

※ お振り込みの際、氏名のご記入をお願いいたします。

【連絡先】 特定非営利活動法人 イマジン

障害者支援センターイマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20

TEL 0547-34-3370 FAX 0547-34-3371

e-mail imagine@za.tnc.ne.jp

http://www3.tokai.or.jp/imagine/

初倉事務所 (つつい雨やどり隣)

〒427-0113 静岡県島田市湯田1-1

TEL / FAX 0547-30-4117

e-mail npo-imagine@cy.tnc.ne.jp

